


製品安全データシート

作成：2001年11月29日
改訂：2023年03月30日
確認：2023年03月30日

1. 化学品及び会社情報

製品名	HSR液
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノセンター
緊急連絡先	〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 991-1917
推奨用途 使用上の制限	臨床検査測定用 推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHSラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H226 引火性液体及び蒸気
注意書き	
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温の物のような着火源から遠ざけてください。 P233 容器は密閉してください。
応急措置	なし
保管	P403+P235 涼しい所/換気の良い所で保管してください。
廃棄	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学的特性に関する情報	溶液
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度(範囲)	キシレン 60%(w/w)
化学式	C ₆ H ₄ (CH ₃) ₂
CAS番号	1330-20-7
化審法 官報公示整理番号	3-3 3-60
労働安全衛生法 政令番号	別表第9の136
化管法 政令番号 (令和5年3月31日まで)	第1種 1-80
化管法 管理番号 (令和5年4月1日以降)	第1種 80

4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。直ちに医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服、靴等を脱ぎ捨てる。触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。
眼に入った場合	清潔な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲込んだ場合	有機揮発性液体なので吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける。水で良く口の中を洗っても良い。意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者は、適切な保護具を着用して行う。
医師に対する特別な注意事項	SDS を提示する等、情報を医師に提供する。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末・炭酸ガス・泡・乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性	燃焼した時に多量の黒煙を発生する。燃焼ガスは一酸化炭素を含む。
特有の消火方法	初期の火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂など用いる。大規模火災には泡消火器で空気を遮断し、一気に消化する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されているときは、移さない。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	適当な保護具を着用する。必要に応じて換気を確保する。付近の着火源となる物を速やかに取り除く。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 少量の場合は、漏洩液は鋸屑、ウエス、砂等で吸収させて、空容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	火気、静電気、衝撃火花等による着火源がないように注意する。
安全取扱注意事項	接触、吸入防止のために必要に応じて個人保護具を着用する。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け室温に保管する。高温物を近付けない。 電気機器は防爆構造とし、裸電球等を使用しない。
安全な容器包装材料	情報なし
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	100 ppm
許容濃度	
日本産業衛生学会	(PEL) 100ppm 440mg/m ³
ACGIH	(TWA) 100ppm 434mg/m ³
設備対策	密閉された装置、機器又は局所排気装置。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	揮発性の場合、呼吸用保護具を用いる。
手の保護具	保護用手袋
眼/顔面の保護具	保護用眼鏡
皮膚及び身体の保護具	耐油性の保護手袋等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粘調な液体
色	無色透明
臭い	特有の臭
融点・凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	キシレンとして 27°C
自然発火点	キシレンとして 463°C
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取扱では安定。
危険有害反応可能性	引火しやすいが、自然発火性・水との反応性はない。
避けるべき条件	空気中において1~7Vol%程度の範囲で爆発混合気体を形成。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	キシレン単体につき、吸入LC ⁵⁰ ラット(6,700ppm/4Hr)、経口LD ⁵⁰ ラット(4,300mg/kg)。
皮膚腐食性/刺激性	眼、鼻、喉の粘膜を刺激し、結膜炎等の前眼部障害を起す。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回曝露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復曝露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性/分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし

土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	ウエス等でふき取ったものは開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。又は産業廃棄物処理業者に処理を委託する。容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。又は、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
14. 輸送上の注意	
国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則 (ICAO/IATA)	
国連番号	UN 1307
品名 (国際輸送名)	XYLENES
国連分類	クラス 3
容器等級	III
国際海上危険物規則	
国連番号	UN 1307
品名 (国際輸送名)	XYLENES
国連分類	クラス 3
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
輸送の特定の安全対策及び条件	特になし
15. 適用法令	
適用法令	
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) (キシレン)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1) (キシレン) (政令番号 1-80) (令和5年3月31日まで) (管理番号 80) (令和5年4月1日以降)
毒物及び劇物取締法	非該当
化審法	優先評価化学物質 (法第2条第5項) (キシレン) (官報整理番号: 3-3, 3-60)
消防法	第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体 (法第2条第7項危険物別表第1) (キシレン)
大気汚染防止法	キシレン (有害大気汚染物質、中環審第9次答申の43)
水質汚濁防止法	キシレン (指定物質、政令第3条の3第28号)
船舶安全法	引火性液体類 (危規則第2, 3条危険物告示別表第1) (キシレン)
航空法	引火性液体 (施行規則第194条危険物告示別表第1) (キシレン)
海洋汚染防止法	施行令別表第1 有害液体物質 Y 類) (キシレン)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない

16. その他の情報

一般的注意

ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

その他の情報

略語

[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

化管法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
